

茂原市第5次3か年実施計画を策定しました

「ゆたかな暮らしをはぐくむ」自立拠点都市「もばらを目指して」

この計画は、茂原市基本構想で掲げた将来都市像「ゆたかな暮らしをはぐくむ」自立拠点都市「もばら」を実現するための「後期基本計画（平成23年度～平成32年度）」における各種施策の具体化を目指し、平成26年度から平成28年度までの3年間に於ける、各種施策の展開や行財政運営の指針とするものです。

重点施策



第5次3か年実施計画では、地震や風水害対策をはじめとする「安全・安心なまちづくり」、企業誘致や誘致に必要な環境整備などによる「産業の振興」、人口減少対策としての「子育て支援」を重点施策として取り組みます。

◆安全・安心なまちづくり

◎学校施設の耐震化

平成27年度末までに耐震化を完了し、児童・生徒の安全を確保します。

◎総合市民センターの整備

災害時には避難所となり、災害ボランティアセンターも設置されることから、耐震強化を図ります。

◎橋梁の耐震化・長寿命化修繕

長寿命化による将来のコスト削減と併せ、耐震化による道路網の安全性及び信頼性の向上を図ります。

◎防災行政無線のデジタル化

デジタル化による機能向上を図り、迅速かつ的確な情報伝達手段として整備します。

◆産業振興

◎道路改良事業

圏央道へのアクセス道路を整備し更なる利活用による、地域経済の発展を推進します。

◎（仮称）茂原長柄スマートICの設置

圏央道を有効利用するため、主要地方道千葉茂原線（通称茂原街道）真名交差点地先にスマートIC設置します。

◎企業立地の促進

平成29年度の方議開始を目指し、茂原にいなる工業団地

の整備を進めるとともに、企業立地奨励金の交付により、企業誘致における優位性を高めます。

◆子育て支援

◎乳幼児家庭の支援

0～2歳未満のお子さんがいる世帯に、おむつごみ用い可燃物ごみ袋（20ℓ）を、子ども一人当たり、年間50枚無償配布します。

◎子ども医療費の助成対象拡大

通院医療費の助成対象年齢を、段階的に拡大し、子育て家庭への経済的支援を充実します。

◎都市公園等の施設整備

子どもが安心して遊べる空間、また子育て世代を中心とした地域交流の場として、茂原公園・富士見公園・萩原公園を整備します。

後期基本計画における6本の柱に沿って実施する、それぞれの主な取り組みは次のとおりです。

教育文化

ちがいの学びを担う子どもたち
子育ての通し学習を担う子どもたち
次世代を育てる



◇生涯学習

学習情報の提供、市民カレッジの開催、学社融合事業を推進し、学習活動の参加機会を充実します。

◇幼児期教育

幼稚園機能を生かした子育て支援事業として、「ふれあい広場」を開催し、家庭教育の充実を図ります。

◇学校教育

平成27年度末までに学校施設の耐震化を完了します。また、国際化、情報化教育を推進します。

◇社会教育

図書館を茂原駅南口再開発ビルに移転し、民間活力の導入によるサービス向上を図ります。

◇スポーツ・レクリエーション

スポーツ教室の開催やスポーツ団体への支援により、スポーツを振興します。また、施設整備により利用を促進します。



▲耐震工事が完了した東郷小学校

◇市民文化

美術・郷土資料の展示や芸術観賞会の開催による芸術振興に取り組みます。また、文化財の保護保存や市史の編纂により、伝統文化を維持継承します。

◇青少年健全育成

各団体への支援や連携強化により、健全育成に向けた活動を促進します。